

# 冬春どりニラの植付様式

(園試・南部分場)

## 1. 背景とゆらい

県南部および沿岸部を中心に冬春期どりニラの栽培面積が増加傾向にある。ニラの生産安定化を図るために行き土壌条件や栽培管理技術の改善など検討すべき課題も多い。この中で植付様式について検討した結果、一応の成果が得られたので参考に供する。

## 2. 技術の内容

1) 植付様式はこれまでの株植方式より条植がよいく、この場合の栽培様式は畦幅180cm(ベツ幅120cm)条間30cm,株間2~3cm程度の4条植とする。

2) 適応地域 県下全域

## 3. 指導上の留意事項

1) 条間が30cmより狭い場合は株の混み過ぎ等から上物率が低下し、白斑症状などの病害が発生しやすい。(表1)

2) この作型の品種はグリーンベルトであるが、たいりょうニラでも同様に増収効果が高い。

3) マルチは慣行栽培に準じて掃除刈後全面マルチするが、萌芽時は株上を線状に切開する。

4) 植付株数が慣行栽培に比べ30%程度多く打るので、苗床面積も広めに(本圃10a当り1.5a程度)準備する。

## 4. 参考文献,資料

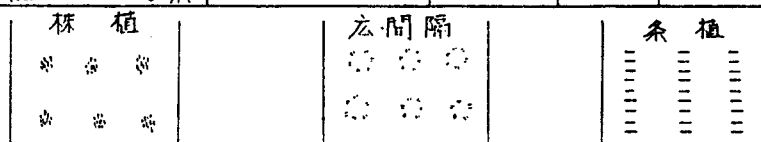
昭和57, 58, 59年度 県立園試南部分場試験成績報告

## 5. 試験成績

### 1) 試験方法

#### (1) 供試条件

処理区	植付様式			
	畦間(ベツ幅)	株間	条間	株当り植付本数
① 株植(慣行) 3条	180cm(120cm)	20cm	40cm	8本
② 株植 広間隔 3条	" "	20cm	"	"
③ 条植 3条	" "	2~3cm	"	1m当り40本条植
④ 条植 4条	" "	"	30cm	"
⑤ 条植 5条	" "	"	24cm	"
⑥ 条植 6条	" "	"	20cm	"



#### (2) 耕種概要

は種期 昭和56年3月15日 定植 昭和56年6月18日  
 保温開始 収穫 1年目 56年12月9日  
 2年目 58年1月18日  
 3年目 58年12月26日

(2) 試験結果 表-1 収量 (品種 グリーンベルト)

植付様式		収量 (1.8㎡当)			1茎重	Q当収量	収量比	調整率*	上物率*
		茎数	重量	調整重					
57年 (2年株)	① 株植(横行) 3条	1,144 <sup>本</sup>	3,920 <sup>g</sup>	3,168 <sup>g</sup>	2.8 <sup>g</sup>	176 <sup>kg</sup>	100	80.8 <sup>%</sup>	— <sup>%</sup>
	② 株植(間隔) 3条	1,230	3,940	3,326	2.7	185	105	84.4	—
	③ 条植 3条	1,263	3,960	3,321	2.6	185	105	83.9	—
	④ " 4条	1,330	4,217	3,479	2.6	193	110	82.5	—
	⑤ " 5条	1,526	4,401	3,699	2.4	205	117	84.1	—
	⑥ " 6条	1,786	4,748	3,983	2.2	221	126	83.9	—
58年 (3年株)	① 株植(横行) 3条	2,038	7,260	5,922	2.8	329	100	85.2	84.2
	② 株植(間隔) 3条	2,421	7,335	6,199	2.7	344	105	84.2	80.0
	③ 条植 3条	2,529	8,285	7,117	3.0	395	120	85.8	80.3
	④ " 4条	2,830	8,260	7,417	2.6	406	124	88.4	80.3
	⑤ " 5条	2,663	7,970	6,944	2.6	386	117	86.7	88.0
	⑥ " 6条	2,743	7,635	6,554	2.4	364	111	85.6	86.0
59年 (4年株)	① 株植(横行) 3条	2,955	5,939	5,205	1.8	289	100	87.6	78.0
	② 株植(間隔) 3条	2,993	6,269	5,595	1.9	311	108	89.2	78.2
	③ 条植 3条	3,176	6,424	5,690	1.8	316	109	88.6	83.3
	④ " 4条	3,907	7,668	6,670	1.7	365	128	87.0	78.1
	⑤ " 5条	3,876	7,931	6,930	1.7	363	125	86.1	78.3
	⑥ " 6条	3,443	6,814	5,920	1.7	329	114	86.9	68.0

※ 試験期 昭和56年6月15日 57年は2回刈の合計 58,59年は3回刈の合計

$$\text{調整率} = \frac{\text{調整重}}{\text{重量}} \times 100 \quad \text{上物率} = \frac{\text{良莖数}(20cm)}{\text{全莖数}}$$

(3) 参考資料 表-2 収量 (品種 たいりょう)

植付様式		収量 (1.8㎡当)			1茎重	Q当収量	収量比
		茎数	重量	調整重			
57年 (3年株)	① 株植(横行) 3条	1,126 <sup>本</sup>	13,113	11,115	9.9	618	100
	② 条植 3条	1,354	13,023	11,565	8.5	643	104
	③ 条植 4条	1,599	16,850	14,760	9.3	820	133
58年 (4年株)	① 株植(横行) 3条	864	8,690	7,910	9.2	439	100
	② 条植 3条	1,182	9,600	8,700	7.4	484	110
	③ 条植 4条	1,288	11,370	10,230	7.9	568	129
59年 (5年株)	① 株植 3条	1,242	5,383	4,880	3.9	271	100
	② 条植 3条	1,126	5,047	4,480	4.0	249	92
	③ 条植 4条	1,563	6,830	6,170	3.9	343	127

※ 55年定植した株を56年に振り上げ株分けし再定植したものの。

収量は各年とひき回りの合計。